

## 組合員から寄せられた『関東甲信大雪被害支援募金』 1,930万円を7県25団体に寄付 ～ 引き続き、産直産地の復旧・復興支援活動に取り組みます ～

コブネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）は、2014年2月に関東甲信に降り続いた大雪の影響により被害に遭われた7県（群馬県、埼玉県、栃木県、千葉県、茨城県、長野県、山梨県）25団体（産直産地のJAや生産者団体）に、組合員から寄せられた『関東甲信大雪被害支援募金※』1,930万円を順次寄付しています。

2月の大雪の影響で、コブネットグループの産直産地では野菜や果物に大きな被害が発生したことから、当事業連合では、産直産地の一日も早い復旧・復興を支援するため、『関東甲信大雪被害支援募金』を店舗や宅配サービス「コブデリ」などで実施しました。

募金活動以外にも、特に被害の大きかった埼玉産直センター（埼玉県深谷市）・JA甘楽富岡（群馬県富岡市）の農業再開を支援するため、現地へ職員を派遣し、倒壊した農業用ハウスの撤去作業などを行いました。

また、大雪被害によってキズのついた埼玉産直センターのブロッコリーを店舗（埼玉エリア）で販売したり、同センターの露地栽培の小松菜をコブデリ（埼玉・群馬・東京・千葉エリア）で取り扱ったほか、小松菜や水菜、ミニトマトなどを詰め合わせた「雪害産地応援野菜セット」をコブデリ（埼玉エリア）で販売するなど、商品の販売で復興支援を呼びかけ、多くのご利用をいただいております。

農業生産の完全復旧にはまだ時間を要しますが、今後も、産直産地とともに復興・農業再開支援を継続して行っていきます。

※ 2014年3月3日から4月20日までの期間、コブネットグループの全店舗、宅配サービス「コブデリ」などで『関東甲信大雪被害支援募金』を呼びかけました（「コブデリ」では3月3日から4月11日まで）。

### 《生活協同組合連合会コブネット事業連合 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
- 【理事長】 赤松 光（あかまつ ひかる）
- 【会員生協】 コブみらい、いばらきコブ、とちぎコブ、コブぐんま、コブながの、コブにいがた
- 【総事業高】 4,992億円（会員生協事業高計）※2013年度
- 【組合員数】 426万人（会員生協組合員計）※2014年5月20日現在
- 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>